

【喫茶サービス競技 A 講評】

【課題の概要】

模擬的に設置された喫茶店でお客様の立場に立って正確かつスムーズに商品を提供する技術を競います。

午前中は、「規定競技」として、選手一人につき、模擬客 1～2 名の接客を行い、午後は、「自由競技」として、選手 2～3 名を 1 グループとして模擬客 30 名程度の接客を行った。

【当日の選手全体の良かった点】

- ・どの選手も大会に備えてよく練習を積み、一つ一つの基本的な動作は良くできていました。
- ・当日抽選で分けたグループ内の連携もよく取れており、グループ全員で接客することの理解ができていて、毎年レベルアップしているように感じました。

【当日の選手全体の直すべき点（減点が多かった点）】

- ・サーバーからの商品の待ち時間に、完全にゲストに背を向けた状態にいる選手が多く見受けられ、ゲストの来店、退店に気づかない場面がありました。商品待ちの間でも、顔だけはゲストの方に向けて、その動向に気を配ることが大切です。

【次回の当該競技への参加を考えている人が気をつけるべき点】

- ・第一印象はとても重要です。
- ・手順に沿った基本的な動作の練習はもちろん大切ですが、お客様が来店されたときに良い印象をもたれるように、「心地よく感じる声」と「自然な笑顔」を意識してトレーニングしてみてください。

